

みなみ自治会が目指す姿

「みなみ地区の特徴に根差した自治会とは何か」を考えた時、キーワードになったのが「年齢構成」でした。

みなみ地区の年齢構成は、20～40代が60%、0～9歳が30%、残りの10%は10代と50代以上という状況で、他の地区と比べて若い世代が多くなっています。

若い世代に自治会に入ってもらうことはもちろん、若い世代の特に女性が、お子さん連れで自治会活動に参加できれば、みなみ自治会は成り立ちません。

2月18日(日)に開催したみなみ自治会設立総会では、子育て中のママさんが一人の子どもをおぶり、もう一人の子どもと手をつなぎながら司会をしてくれました。彼女は「子育て中でも参加できる自治会活動が私たちの目指している姿です。お子さんと一緒にぜひ参加してください。」と話しました。

今まで議論してきたことが、



みなみ自治会長
長谷川 博史さん



みなみ自治会設立総会の様子

形となって見えた瞬間でした。

子どもたちに故郷を

みなみ自治会で今、一番懸念されるのは、今の0～9歳の子どもたちが就職や結婚後にこのみなみ地区に戻ってきてくれるかということです。

私たちが今やるべきことは、新しくできた街で育つ子どもたちの故郷づくりだと思っています。開成町南部地区土地管理組合の協力もいただきながら、みなみ自治会全体で子どもたちを見守り、一つでも多くの楽しい思い出をつくることで、「ここが自分たちの故郷だ」と子どもたちが思える自治会をつくっていききたいですね。



②



①



③



⑤



④



⑦



⑥

①阿波おどり(宮台)②阿波おどり(河原町)
③防災訓練(上島)④自治会夏祭り(中家村)
⑤あじさいまつり(金井島)⑥どんど焼き(円中)
⑦町内駅伝競走大会

「みなみ自治会」が誕生しました

全国的に自治会数が減少している中、これまで牛島自治会と活動を共にしていたみなみ地区が独立し、新しい自治会「みなみ自治会」が誕生しました。これによって、町の自治会数は13から14になります。

今回、みなみ自治会の設立に向けて尽力されたみなみ自治会長の長谷川さんと牛島自治会長の府川さんにお話を伺いました。



みなみ三丁目周辺

地域の元気が町の元気に

開成町は自治会活動がとても活発な町です。自分の住む町を、自分で住みやすくする。そんな気持ちで人と人がつながり、地域を盛り上げ、町中に笑顔があふれています。

自治活動応援課 ☎84-0315



牛島自治会長
府川 慶治さん

みなみ自治会から新しい風を

多くの自治会は、過去の様々な流れを土台にしたり、過去を振り返ったりしながら、より良い自治会を目指して現在の姿をつくり上げてきました。

一方で、みなみ自治会は、ゼロからつくり上げないといけません。ノウハウもなく住民同士のコミュニケーションも十分に築かれていない状態から始めていくのは本当に大変なことだと思っています。

しかし、自治会設立に携わる中で、みなみ地区の能力あふれる若い世代の力が集まり、家庭や仕事がありながらも、自治会設立に向けた準備に積極的に参加し活躍している姿に触れ、みなみ自治会は大丈夫だと確信しました。

従来とは異なる若い世代の感覚を自治会に取り入れて、「みなみ自治会はやっぱりちよっと違うよね」と周りが一目置くような、新しい自治会のあり方を見せてくれることを期待しています。そして、みなみ自治会から新しい風を町に吹かせてほしいと願っています。

自治会に加入しませんか？
加入方法やお住まいの自治会が分からない方は、自治活動応援課までお問い合わせください。
各地域の自治会長はこちらでご紹介しています。



広報かいせい2017.5月号→
「あなたの地域の自治会長」

誰もが笑顔で暮らすために

町では、協働によるまちづくりを推進しており、特に自治会活動を中心とした地域活動の活性化に取り組んでいます。現在、町の自治会加入率は80.2%と全国的に見ても高い水準です。自治会では夏祭りや阿波おどり、防災訓練など様々な行事を企画して、住民同士の交流や親睦を深めています。地域でのふれあいにより、より豊かな生活を送ることが出来ます。

また、東日本大震災や熊本地震では、多くの方が、近隣同士での助け合いによって救助されました。日頃からの地域の関係づくりは災害時に大きな防災力となり、いざという時の助け合いにつながります。

将来にわたり、地域の良さがいき、安心して笑顔で暮らせる地域になれるよう、自治会に参加してみませんか。